

総額625億6千18万4千円

新年度予算は2月24日に開会した市議会定例会議に上程、19日に各上程議案が可決されました。

「次の75年へ向かって～2100年を見据えた積極投資～」－今年の予算の考え方について－

令和8年度当初予算編成にあたっては、ここ数年に及ぶ人事院勧告等による人件費上昇や物件費の高騰が市財政を圧迫している状況を踏まえながらも、政府による「賃上げこそが成長戦略の要」との方針のもと、「官公需の適切な価格転嫁」に配慮するとともに、将来の市の地域づくりや財政構造の転換といった中長期的な視点にたち、公共施設等の計画的な集約化・複合化や長寿命化対策、更にはデジタル技術の活用を着実に推進するための予算編成としました。

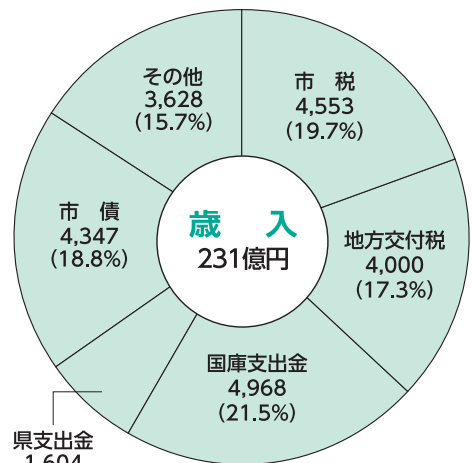
その結果、令和8年度当初予算は、「次の75年へ向かって」のフレーズを冠した、将来のまちづくりの布石となる施策を計上し、一層の具体化を進めた予算編成となっています。

小松島市の当初予算を家計に例えると… 小松島家の家計簿(一般会計)

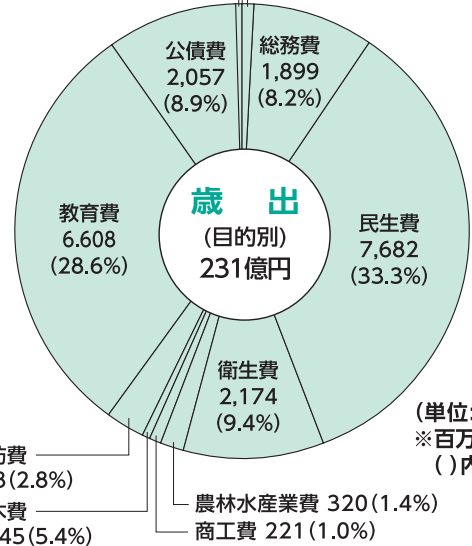
収入		金額	内訳
給料(市税・交付税など)	999万円	(985万円)	
副収入・預金金利(使用料・手数料など)	151万円	(125万円)	
預金取り崩し(繰入金)	65万円	(52万円)	
親から仕送り(国県支出金など)	660万円	(508万円)	
借金(市債)	435万円	(207万円)	
収入合計	2,310万円	(1,877万円)	
支出		金額	内訳
食費(人件費)	412万円	(389万円)	
介護・医療費(扶助費)	366万円	(360万円)	
家の増改築(公共事業・維持補修費)	684万円	(312万円)	
光熱水費、日用品(物件費・補助費など)	504万円	(459万円)	
子どもへの仕送り(繰出金)	132万円	(171万円)	
貯金など(その他)	7万円	(3万円)	
借金返済(公債費・繰上充用金)	205万円	(183万円)	
支出合計	2,310万円	(1,877万円)	

※()は令和7年度当初予算数値を表しています。

※令和8年度当初予算および令和7年度当初予算数値は、1000分の1で計算しています。



諸支出金 54(0.2%)
予備費 10(0.0%)
議会費 192(0.8%)



(単位:百万円)
※百万円未満四捨五入
()内は構成比(%)

会計名	収支	区分	予算額
水道事業会計	収益	収入	7億6千163万6千円
		支出	7億3千641万2千円
	資本	収入	2億5千431万円
		支出	5億6千131万4千円
下水道事業会計	※下水道事業会計については令和8年度より一般会計に移行します。		

企業会計予算

特別会計名	予算額
競争事業	285億7千800万円
後期高齢者医療	8億5千70万円
住宅新築資金等貸付事業	8千180万円
国民健康保険	41億9千840万円
土地取得事業	1千610万円
介護保険	44億3千730万円
合計	381億6千230万円

特別会計予算

市税は忘れずに納期限内に納めましょう。納付は、確実・安心・便利な口座振替をご利用ください。

2026年(令和8年)4月5日
広報こまつしま

